

2017年1月27日

2016年度第4回研究会（通算第66回）

研究報告

カタライザー21について

野口総合研究所 日高聡信氏

カタライザー21の研究成果

抗酸化作用

活性酸素を98,3%抑制していることが分かった

抗腫瘍効果

癌細胞の転移、浸潤、新生血管の抑制がある

癌細胞アポトーシス誘導効果がある

これらはモデルマウスを用いた抗腫瘍効果の実証実験で証明された

抗糖尿病効果

1型 2型の糖尿病のどちらにも効果があることが分かった

抗アレルギー効果

ヒスタミン分泌、合成、受容体の抑制

糖鎖栄養素全種の含有を確認

8種類の糖鎖栄養素がすべて含まれているので細胞間のコミュニケーション、免疫システムのネットワークなどがスムーズに行われる。その結果さまざまな疾病の予防、老化現象の改善が期待される。

肝臓障害化学物質の細胞毒性に及ぼす抑制効果

次回の研究会は2017年3月24日の予定。